

## 公用語の使い分け

公文書の用語の中には、独特の使い分けをする「法令用語」があります。学校現場においても、混用してしまう恐れがあるので、注意が必要です。

### 1 「以上」と「超える」、「以下」と「未満」

「以上」と「以下」は基準数量を含むのに対し、「超える」と「未満」は基準数量を含みません。

[例]

1万円以上の金額 … 基準点となる1万円を含み、それより多い金額を示す  
8時間を超える勤務 … 基準点の8時間を含まないで、それより多い勤務を示す

### 2 「以前」と「前」、「以後」と「後」

いずれも時間的限度を表す場合に用います。「以前」と「以後」は、基準時点を含んで、それより前又は後の時間的広がり示すのに対し、「前」と「後」は、基準時点を含まないで、それより前又は後への時間的広がりを表します。

[例]

4月1日以前 … 4月1日を含む。  
4月1日前 … 4月1日を含まない。

### 3 「又は」と「若しくは」

並列された語句を単に接続する場合には「又は」を用います。この場合、選択される語句が三つ以上のときは、最後の二つの語句だけを「又は」で結び、その他の接続は、「、(てん)」を用います。

[例]

A 又は B      A、B 又は C      A、B、C 又は D  
各班の班長は、立候補、推せん、多数決 又は くじ引きで決めます。

選択される語句に段階がある場合には、一番大きな選択的連結に1回だけ「又は」を用い、その他の小さな選択には「若しくは」を用います。

[例]

A 若しくは B 又は C … AとBが接続し、これとCが接続する場合  
「公立の中学校、小学校、盲学校 若しくは 特別支援学校の校長 又は 公立の幼稚園の園長」のように用います。

#### 4 「及び」と「並びに」

AとBというような単純、並列的な併合的接続の場合には、「及び」を用います。三つ以上であっても同じ段階での並列は、初めのつながぎを「、(てん)」で、最後の接続を「及び」で結びます。

[例] A 及び B    A、B 及び C    A、B、C 及び D  
教科書、ノート、筆記用具、体操服 及び 給食セット

併合的接続の段階が2段階以上になる場合には、小さい接続のほうに「及び」を用い、大きい接続の方に「並びに」を用います。

[例]  
A 及び B 並びに C 及び D … AとBが接続し、これとCとDが接続する場合。  
市教委の学校教育部の部長 及び 課長 並びに 教育総務部の部長 及び 課長は…  
のように用いる。

#### 5 「場合」と「とき」と「時」

大きな条件を「場合」で示し、小さな条件を「とき」で示します。

[例]  
インフルエンザによる欠席者が多い 場合 において、その欠席率が20%に達した とき には、学校長は、学校医の意見を聴いて、学級閉鎖を決定することができる。

「とき」 … 仮定的条件を表す場合に用います。

「時」 … 時間、時刻、時期などの限定した時点を表現するときに用います。

[例] 欠席の とき は連絡する。  
出発の 時

#### 6 「直ちに」と「速やかに」と「遅滞なく」

いずれも時間的即効性、すなわち、時間的に遅れてはならないことを示しますが、それぞれその早さの加減などに若干の差があります。

直ちに … この3つの語の中では時間的即効性が一番強く、一切の遅れを許さない趣旨を表す場合に用います。この語を用いた場合は、今やっていることを止めてでもすぐやりなさいという意味がある。

速やかに … 訓示的意味を持たせて、できる限り早く行わなければならないという意味を表す。

遅滞なく … 正当又は合理的な理由に基づく遅滞は許されると解されています。しかし、この語が用いられている規定に違反すると〔直ちに〕の場合と同様に義務違反となるのが通例です。

## 7 「配布」と「配付」

「配布する」 … 多くの人に行き渡るように配ること。

「配付する」 … 特定の人に一人ずつ配ること。

[例] 全校生徒に学校だよりを **配布** する。  
成績表を一人一人に **配付** する。  
会議資料を **配付** する。

## 8 「評価規準」と「評価基準」

評価規準 … 到達目標すなわち、最終的なゴールをいう。

評価基準 … 到達目標に対して、どの程度できたかを量的に判断するための経過目標（指標、目安）をいう。

[例]  
評価規準 … 鉄棒の「逆上がり」ができるようになるという評価。  
評価基準 … 「補助板を使うことで逆上がりができた。」という細分化した評価。

[通知表の例]

評価規準 … 各教科の ① 関心・意欲・態度 ② 思考・判断 ③ 技能・表現  
④ 知識・理解の4観点の評価をいう。

評価基準 … 4観点のそれぞれについて、A（十分満足できる）B（おおむね満足できる）C（努力を要する）としての量的な評価をいう。

## 9 「編制」と「編成」

編制 … 法で制度化されている場合に用いる。

編成 … 実態に応じて弾力的に運用される場合に用いる。

[例]  
学級編制 … 小1は35人学級、小2～小6は38人学級の編制と定められている  
学級の班編成 … 班編成は、各担任の裁量でなされている。  
教育課程の編成 … 各学校の実態に応じて教育課程や教育計画を編成している

## 10 「夏季」と「夏期」

夏季 … 自然現象（季節）としての期間を示す。

夏期 … 人間が決める限定された期間

[例] 夏季休業 夏季休暇 夏季オリンピック  
夏期講習